

# 週報

Rotary  
福岡中央  
ロータリークラブ



- 四つのテスト
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」  
2023-2024年度 国際ロータリー会長  
R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

「再び動かす我らの歴史」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和6年3月11日（第2063回）VOL.47 No.28

卓話

「新会員自己紹介」

福岡中央ロータリークラブ 原 志津子会員

水と衛生月間

今後の  
例会予定

- ・3月18日(月) 卓話 福岡中央ロータリークラブ 江口 裕会員
- ・3月23日(土) 例会及び第5グループIM（11時～例会 13時～IM アクロス福岡4階）
- ・3月25日(月) 休会

「宗像大社 西日本菊花大会2023」



宗像大社で2023年11月に西日本菊花大会が開催されておりました。その中の一つの作品です。ところで今週3月14日はホワイトデーですが、ホワイトデーは福岡の石村萬盛堂の「マシユマロデー」に由来して3月14日は岩田屋の助言だったということです。（所説あり）  
田口一孝

例会日…毎週月曜日 12:30～13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

## 前週例会の記録(3月4日)

### 出席報告

前回例会 3月4日		前々回例会 2月26日	
会員数	53名	会員数	53名
出席会員	49名	出席会員	43名
ビジター他	2名	修正	0名
合計	51名	免除	1名
出席率	92.45%	修正後出席率	82.69%

-来訪者内訳-

卓話 池田 宜永さん、福岡城西RC 1名 計 2名

### ロータリーソング

清成 留美 ロータリーソング委員

・君が代 ・奉仕の理想

### 会長の時間

怡土 順治会長



今月は「水と衛生月間」になります。2014年のRI理事会において重点分野である「水と衛生月間」である3月を、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。これはロータリー財団が重点分野にしている6つの分野のうちの1つになります。✓現在我々は、水道の蛇口をひねると当たり前のように綺麗な水を飲むことができますが、上水道や井戸などの安全な水を利用できない人口は世界全体で約9億人。そのうち約5億人がアジアに、約3億人がサハラ以南アフリカに暮らしています。✓世界で下水道などの基本的な衛生施設を利用できない人口は約26億人。そのうち約19億人(72%)がアジアに、約6億人(21%)がアフリカに暮らしています。✓年間約180万人の子供が下痢のために死亡しています(国連開発計画 UNDP)。これは世界で2番目に

多い子供の死因です。✓水関連の病気により年間のべ4億4,300万人の子供たちの授業日が失われています。✓何百万もの女性や子どもが水汲みに毎日数時間を費やしています。世界を見渡すとまだまだこのような状況なのです。アフリカでは「命を奪う水」と言われるほど水の衛生状況が悪く、深刻な問題となっています。生命活動において水は不可欠ですよね。アフリカの人々は生きるために不衛生極まりない茶色い水を生活に使っています。茶色く汚い水には泥や細菌、動物の糞尿が混ざっており、その水が原因で年間約30万人、毎日800人以上の子どもが下痢症で命を落としている悲惨な現状があります。アフリカで水が不衛生な状態になっている原因は、水道設備などのインフラが整備されていないことにあります。アフリカは発展途上国で、都市部は比較的整備されていはいはいるものの、農村地帯となるとそうはいきません。アフリカでは日本のような浄水設備がないだけでなく、井戸のような貯水設備も少ないのです。貯水設備があったとしても、管理が施されておらず、不衛生な水になってきます。さらに、アフリカでは内戦や紛争が多く、水道設備がない場所に追いやられている人々もいます。このことから、アフリカの人々は池や川、湖または整備されていない井戸から水を汲んでいるのです。その水汲みの担い手は誰なのでしょう。それは子供たちなのです。水汲み場はそれほど遠くない場所にあったとしても、1日の水を確保するためには何往復もする必要があります。では我々はどれくらいの水を使っているのでしょうか？日本では1人が1日に使う水の量は289リットルだそうです。車などの移動手段もないので、当然ながら徒歩で水汲み場まで行きます。アフリカの子供たちは水の重さに耐えながら、長い道のりを歩き、1日の大半を水汲み場への往復で過ごしています。このことから、本人が勉強をしたいと思っても教育を受けられず、将来の夢や希望をあきらめるしかない状況です。アフリカの水問題は衛生面の問題も当然ありますが、同時に子供たちの時間を奪う存在にもなっているのです。すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、このような状況がある事を知ることが、奉仕のきっかけになるのではと思います。本日の会長の時間はここまでにしたいと思います。